

放課後児童クラブ入所のご案内

☎ 福祉課 子育て支援係 ☎ 22-3167



令和7年4月から放課後児童クラブの入所を希望する人は、次のとおり期限までに申込みをしてください。

●入所申込

各放課後児童クラブに備え付けの「入所申込書」と必要書類を添付して下記申込先に1月31日(金)までにお申込みください。

申込期限 令和7年1月31日(金)

長期休業期間中のみ利用を希望する人も、この期限内にお申込みください。

期日までに申込がない場合や定員を上回る申込があった場合は、入所できないことがあります。

放課後児童クラブとは

小学生の子どもがいる家庭で、保護者が仕事などで昼間家にいないときに、子どもたちが安全に過ごせる場所を提供します。子どもたちは授業終了後、使っていない教室などで、遊びやいろいろな活動を行います。



放課後児童クラブ一覧 (令和7年4月見込み)

校区	クラブ名	ところ	申込先	負担金	時間
一の宮小	一の宮まどか学童クラブ	一の宮小放課後児童クラブ	まどか会 ☎ 080-3711-0990	4,500円	月～金 放課後～午後7時 土 午前7時30分～午後7時 長期休暇 午前7時30分～午後7時
阿蘇小	へきすい元気っ子クラブ	ふわりの杜(阿蘇小西側)	やまなみ会 ☎ 32-5155 ☎ 090-1782-0706		
阿蘇西小	阿蘇西アイガモ学童クラブ	阿蘇西小学校低学年棟	阿蘇市社会福祉協議会 ☎ 32-1127		
内牧小	うちのまきスマイルキッズクラブ	内牧小学校体育館2階			
波野小	波野ハッピークラブ	波野小学校ホール、図書館	波野学童クラブ親の会 ☎ 090-3070-3531		

※1 長期休暇中は、負担金が変わります。年会費やスポーツ安全保険に加入のための保険料も別途必要です(金額はクラブにより異なります)。 ※2 午後6時以降の利用は延長料金が発生します。

阿蘇市放課後児童クラブ利用料減免事業

■低所得世帯

就学援助(要保護・準要保護)の対象となっている小学1年から小学3年までの児童、または、就学援助の対象となっている小学4年から小学6年までの児童で障がいのある児童は、各クラブに申請することにより月額利用料(上限:5,000円/月)が免除となります。

■多子・多胎世帯兄弟利用分(令和7年4月利用分から)

兄弟姉妹が同時に放課後児童クラブを利用している世帯の第3子以降の児童で、かつ市町村民税所得割合算額が301,000円未満である世帯の児童は、各クラブに申請することで月額利用料(上限:2,500円/月)が免除となります。詳しくは各クラブにお尋ねください。

お慶び ご寄付

米寿

昭和11年11月生

氏名 (行政区)

和田 芙紗子 (古城5の2区)

池田 源喜 (上西河原)

西村 トメ子 (上西河原)

工藤 アイ子 (内牧5区)

嶋田 保子 (黒流町)

西村 文子 (西小倉)

渡邊 富廣 (上役犬原)

林 ミエ子 (南黒川)

佐藤 ミサ子 (元黒川)

江藤 リツ子 (北黒川)

仲川 一重 (枳)

家入 敏幸 (的 石)

寄付

10月31日受付分まで

阿蘇市社会福祉協議会(香典返し)

寄付者 続柄 物故者 行政区

山内 鐵郎 妻 いつ子 (東3区)

杉本 武志 母 ミスエ (西井手)

甲斐 まり 父 鶴義 (東下原)

大塚 英子 夫 秀雄 (内牧1区)

河崎 靖伸 母 安代 (内牧2区)

家入 笑子 夫 教繁 (内牧5区)

大塚 五郎 妻 スエ子 (南宮原)

阿部 かちみ 父 市原今朝徳 (折戸)

岩下 満則 母 ラク (黒流町)

中嶋 しづえ 夫 俊次 (下役犬原)

中川 廣一郎 母 エツ (元黒川)

家入 肇治 父 仁司 (的 石)

結婚

10月31日受付分まで

夫 妻 (行政区)

大塚 猶貴 尾方 麻里亜 (古神3区)

山部 琢美 松崎 愛 (分2区)

高津 碧仁 宇野 光 (北黒川)

赤ちゃん

10月31日受付分まで

赤ちゃん パパ・ママ (行政区)

佐藤 心音 正平・三紀子 (町2区)

田中 陽翔 晃太・喜英 (東1区)

三森 翔蒼 光道・優春 (桜町)

山口 遥毬 裕太・美月 (内牧2区)

佐伯 楓 太一・麻里 (山田)

江藤 楓真 慶将・茉 (北黒川)

岡田 望愛 克弥・紗也香 (赤水)



人の動き

(10月31日時点)

	人口	(男性)	(女性)	世帯
人数・世帯数	24,175人	11,437人	12,738人	11,776世帯
前月比	29人減	11人減	18人減	14世帯増

出生	死亡	転入	転出
9人	39人	69人	72人

(10/1 ~ 31)

美容皮膚科

専用電話 096-288-6196

ほくろ・イボ・シミ
美容点滴・医療脱毛

看護師カウンセリング無料

お問い合わせ・予約はこちら⇒



「お肌に関するご相談お聞かせください！」



泌尿器科・腎臓内科・美容皮膚科・婦人科

くろかわクリニック
KUROKAWA CLINIC

泌尿器科・腎臓内科

前立腺肥大 膀胱炎

前立腺癌 腎臓結石

尿漏 頻尿 血尿

性感染症 ED 薄毛

当院HP⇒

〒869-1102 菊陽町大字原水2912番地1

096-288-6185



令和6年度 阿蘇市男女共同参画川柳 入選作品

阿

蘇市では、家庭、学校、職場や地域など身近なところから、誰もが性別にとらわれず、自由に関性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指しています。市内に住んでいる人や通勤・通学している人を対象に、

男女共同参画社会を推進するための川柳を募集しました。

応募句数(高校・一般の部 447句、小・中学校の部 277句)の中から、最優秀賞各1点、優秀賞各10点を男女共同参画審議会で選定しました。

最優秀賞

《小・中学校の部》

「これが好き!!」 言えるあなたは 超無敵

一の宮中学校2年 古閑 唯香

《高校・一般の部》

とらわれない みんなちがつて みんないい

阿蘇中央高校2年 宇藤 奏人

優秀賞

《小・中学校の部》

「かっこいい」 男女共通 ほめことば

阿蘇中学校3年 光原理子

それぞれの 個性でかがやく 明るい未来

一の宮中学校2年 高宮 榛

認めるよ だってそれが 君だから

一の宮中学校1年 佐藤 優月

目指そうよ いい生き方で いい世界

一の宮中学校1年 道園 珠希

あたりまえ その考えが あたりまえ?

一の宮中学校1年 豊増 蓮

隠さずに になりたい自分 ありのまま

一の宮中学校1年 佐藤 陽和

面白い あなたの個性 素敵だね

一の宮中学校1年 宮川 瑛翔

いいんだよ 自分の人生 ありのまま

一の宮中学校1年 小代 絢音

くらべない 自分の色で よか未来

波野小学校6年 木之内 統馬

間違いも 消せたらいいのに 消しゴムで

阿蘇西小学校6年 家入 椋亜

《高校・一般の部》

分け合って 家事と仕事の 二刀流

阿蘇中央高校3年 小野 凰竜

気が付くと 支えられてた ありがとう

阿蘇中央高校2年 川田 理央

ありがとう これ言える人 素敵だね

阿蘇中央高校2年 島本 珠里

今の時代 「くのくせに」は もはや死語

阿蘇中央高校2年 松村 涼羅

結婚し 専業主夫も 選択肢

阿蘇中央高校2年 市原 朝日

もっておこう さしのべるための 優しい手

阿蘇中央高校1年 柴垣 光結

よい社会 どちらが欠けても つくれない

阿蘇中央高校1年 二藤 栄太

思いやり 人の心を 温める

阿蘇中央高校1年 渡辺 悠菜

単身赴任中 勝手に父と 思い込む

一般 坂梨 仁奈

みつけない 世界の人の 幸せを

一般 内藤 聖子

「私の家族に感謝を」

波野中学校 1年

こばやし こたろう
古林 琥太郎

僕の両親は、普段から冗談を言っ、家族みんなを笑わせてくれる面白い一面があります。しかし、食事や勉強に対して小言が多く、時々、面倒くさいと感じる時がありました。そんな両親への見方が変わるきっかけとなることがありました。

それは、発作でした。発作が起きたとき、自分でも起きたことがわからず、その時の記憶も、うろ覚えでした。発作は一瞬のことでした。視界が真っ暗になり、目を開いた時には、すでに病院のベッドで横になっていました。その状況にびっくりして僕は放心状態になりました。

ふと時計を見ると、深夜の二時を過ぎており、周りを見ると手に腕輪みたいなものと壁から伸びたスイッチがつけられていました。そして両手を毛布から出そうとする、左手に違和感があり、見てみると太い針が刺さり、見たことのない液体が点滴されていて、なんだか恐ろしく、僕は、とても不安に感じました。ふと窓の外を眺めると、街の明かりが光って見えました。

次の日に、お父さんが病院に来

て、僕の面倒を見てくれました。お父さんの表情は明るく、病院食の味噌汁が薄いと料理がしょっぱいという僕の話を実剣に聞いてくれて、その姿は、いつもより優しく見えました。

お父さんが帰る前には、たくさんのお父さんを買ってもらいました。僕はうれしくなって、「ありがとう」を言うことができました。お父さんも笑顔でした。その笑顔を見て僕は、今まで感じたことのない感情が込み上げてきて、感謝の気持ちや悲しい気持ちは言葉がなくなっても、伝わるのが分かりました。

病院を退院して学校に通い始めたある日、お母さんと妹が、泥まみれのトロン車で、学校に迎えに来てくれました。妹の服装から保育園園から直接学校に来てくれたと察しました。また、お母さんは汚れた長靴で、服は汗がしみ込んでいて、顔からは汗が滝のように流れていました。僕はその姿を見て、恥ずかしくなりその場からすぐに離れたいと思いました。しかし、母は、僕が帰ろうと言っているにもかかわらず、先生と話していました。その状況をたくさんの友達が見てい

て、お母さんの汚れた服装を、馬鹿にされるんじゃないかと心配になり妹と一緒に人気のないところで遊びながら、気を紛らわして過ごしました。そしてやっとお母さんの「帰るよ」という声が出て車に乗りました。帰り道の車の中で、(何でお母さんは僕の気持ちに気がつかないんだろう)とイライラしていました。

家に帰りつくと、家族みんなが家でバーベキューの準備をしていました。理由を家族に聞くと、「琥太郎の退院祝いだよ」と教えてくれました。僕はそれを聞いて、お母さんが急いで仕事場から駆けつけてくれた理由が、僕の退院祝いを早くしたかったからだと分かりました。その時、僕がお母さんのことを差別をしていたんじゃないかと気がつきました。そして帰りの車の中で、なんであんなことを考えたんだろうと反省し、自然と涙があふれてきました。

バーベキューが始まると、みんなが笑顔で僕の退院を祝ってくれたので、とてもうれしかったです。また、最後に火花をして最高の思い出になりました。

僕はこの経験から、今まで面倒くさく感じていた両親の小言は、僕のことを想って言ってくれたんだと気づきました。また病院で僕の不安を少しでも和らげようと、いつも以上に明るく振る舞ってくれたお父さんや、僕のことを最優先に考えて、仕事場からすぐに駆けつけてくれたお母さんのことを誇りに感じるようになりました。そんな両親は、僕が生きていく上で、欠かせない存在だと思っています。そんな両親のためにこれからは自分のことは自分でできるようになり、将来は両親のような大人になりたいと思います。

先生からのコメント

琥太郎さんは、入院をきっかけに家族の温かさを感じる事ができたと思います。私も両親が近くにいるのがあたり前で、小言を面倒くさく感じる事があるので共感します。琥太郎さんの作文を読み、改めて両親へ感謝の言葉を伝えたいと思いました。